

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
地域福祉の理論と方法Ⅰ			必修（社.精） 選択（心）	2	2.3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
渡邊 典子 他		B312	noriko.watanabe		水曜日 12:10～13:00	
授業の目的・概要		<目的> 昨今、わが国では、地域福祉についての新しい理論構築が求められ、福祉コミュニティと今日的な課題、地域福祉の主体形成など、新たな支え合いが必要とされている。そのため、当科目でも地域福祉の歴史的展開を踏まえ、知識や地域福祉の推進方法を学ぶことで、地域を基盤としたソーシャルワークの理論を総合的に理解することを目的とする。 <概要> 本講義では地域福祉を属性分野ごとの社会福祉の一領域ではなく、それらを再構成する新しい考え方、サービスシステムであることを理解するために必要な知識を習得する。				
学 習 上 の 助 言		教科書を使用して学習を進めるが、教員の講義だけではなく学生の主体的な参加を期待する。事前のリーディング課題にも取り組み、授業内容の関連がある項目等は自ら学ぶことがより深く地域福祉を理解することにつながる。地元や住んでいる場所の地域福祉に関心を持つことが望ましい。				
教 科 書		新・社会福祉士養成講座 9 第 3 版 地域福祉の理論と方法/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参 考 書		コミュニティソーシャルワーク/特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所/編：萌文社/中央法規出版				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	地域福祉の視点の持ち方・考え方について理解し、説明できる。				WP(1)、(2)、(6)	
②	他の講義と関連させ、地域福祉の概念に留まらずに知識を獲得していく。				HSU(2)、(3)、WP(3)	
③	地域を基盤としたソーシャルワーク実践ができる力を身につける。				HSU(2)、(3)、WP(6)	
④	実際の現場でのソーシャルワーカーの実践について理解する。				HSU(2)、(4)、WP(3)	
⑤	国家試験の問題を確実に解答することができる。				HSU(2)	
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	オリエンテーションを行う。地域福祉の基本的考え方について学習する。		同時双方向型授業	「地域」に対するイメージを考えておく。		4
2	【第 1 章 新しい社会福祉システム】 地域福祉の発展過程・官民協働について理解をする。		同時双方向型授業	生活困窮者や生活困窮自立支援法を調べ理解を深めておく。		4
3	新しい福祉サービスシステムとしての地域福祉・福祉コミュニティの考え方、地域福祉の主体形成を理解する。		同時双方向型授業	2021 年改正の社会福祉法について調べてくる。		4
4	【第 2 章 地域福祉の基本的な考え方】 地域福祉論の展開・地域自立生活支援を学習する。		同時双方向型授業	地域福祉概念を体系化した「岡村重夫」地域福祉論を調べるとよい。		4
5	地域コミュニティ型組織を学習し、地域の重層的な捉え方を知り地域を身近に考える。		同時双方向型授業			4
6	【第 3 章 地域福祉の主体と福祉教育】 インクルージョンの概念等との関連を学習する。		同時双方向型授業	テキストを読んで福祉と教育の接近性を理解しておく。		4
7	授業の振り返りを実施する。		同時双方向型授業	第 1 回から 6 回までの資料を振り返っておく。		4
8	【第 4 章 行政組織と民間組織の役割と実際】 地域福祉計画・社会福祉協議会・社会福祉法人について学習する。		同時双方向型授業	地域福祉計画について調べる。		4
9	官民協働の在り方について及び多様な組織や様々な分野で活動する民間の役割を学習する。		同時双方向型授業	NPO 法人や民生委員・児童委員の役割を理解しておく。		4
10	【第 5 章 専門職の枠割と実際】 コミュニティソーシャルワークの考え方を理解し、その展開とシステムを学習する。		同時双方向型授業	配付プリント、講義範囲の教科書を復習する。		4
11	コミュニティソーシャルワークの方法（基本的なプロセス）と視点を学習する。		同時双方向型授業	配付プリント、講義範囲の教科書を復習する。		4
12	全国の先進的な実践的事例からコミュニティソーシャルワーカーの枠割と地域の組織づくりを学習する。		同時双方向型授業	配付プリント、講義範囲の教科書を復習する。		4
13	【第 6 章 住民の参加と方法】 地域住民としての地域福祉推進の参加方法について学習する。		同時双方向型授業	配付プリント、講義範囲の教科書を復習する。		4
14	地域を基盤とするソーシャルワークを学習する。		同時双方向型授業	第 8 回から 14 回までの資料を振り返る。		4

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

15	講義全体のまとめと試験対策及び意見交換を実施する。			対面式授業	分からない部分を明確化する。 資料をまとめておく。		4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	20	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力		60	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力		10	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ		0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力		0	0	0	0	0
	コミュニケーション力		0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲		0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力		0	10	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義で学んだ知識を確認する。試験では、講義中に説明した内容やテキスト及び配布資料から出題する。国家試験用に 5 択の問題も取り入れる。			試験結果を提示する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①	✓	講義の中でテーマに沿ったレポート課題（地域福祉計画、岡本重夫の地域福祉論、コミュニティソーシャルワーク）の提出を課する。（地域福祉計画は地元の計画について考察する。）			最終回に総評する。	
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義中に理解を深めるために受講生間のディスカッションやワークを実施する。講義をただ受ける受動的な姿勢でなく、積極的に学ぶ姿勢であるかを評価する。			同時双方向授業中、また最後の講義中にて総評を行う。	
	②	✓					
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
担当教員：◎渡邊典子、渡邊隆文（研究室：B307，メール ID：t.watanabe） ・ Teams を使った同時双方向型授業を行うため、授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨する。 ・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあり得る。 ・ 同時双方向型授業では講義中にフィードバックを行い、分からない部分は個別に質問に返答する場合もあり得る。 ・ 社会福祉士・精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。							
教員の実務経験：渡邊典子：社会福祉士取得後 20 年の実務経験。渡邊隆文：社会福祉士取得後 6 年の実務経験。 実践的授業の内容：教員が実践してきた事例等を用いながら（地域を特定できないよう加工修正）、教科書の理論について現場の実践内容を踏まえて説明し、実践と理論の双方から地域福祉を理解できるように工夫する。							